

# 岡山県立大学シラバス管理システム 2009 基本仕様書

松吉 健太

2009 年 5 月 7 日

## 目 次

1	はじめに	3
2	要求定義	3
3	各記入内容	4
4	システムの概要	5
5	対象となるユーザ	6
6	システム構成	6
6.1	ハードウェア構成 . . . . .	6
6.1.1	サーバ . . . . .	6
6.1.2	ソフトウェア構成 . . . . .	6
7	開発体制	7
8	開発スケジュール	7
9	開発環境	7
9.1	開発言語 . . . . .	7
9.2	依存関係 . . . . .	7

## 1 はじめに

本書は岡山県立大学におけるシラバスの作成を支援する「シラバス管理システム」の要件を定義するものである。

## 2 要求定義

- 各講義担当教員がウェブフォームより入力を行う。
- 前項の入力データを基に、年度毎に指定する様式でシラバスを PDF ファイルに出力する
- 担当教員が出力された PDF ファイルを確認出来ること
- 稼働期間中の動作保障
- 教務教員に於いては全科目の入力状態を把握でき、検閲及び修正が可能であること
- 入力データの保全
- 前年度入力データの引継ぎ

### 3 各記入内容

以下にシラバスシステム内で記入する項目を定義する。

- 授業科目名  
授業科目の日本語名及び英語名、( )内は英語名
- 担当教員  
授業科目を担当する教員の氏名  
常勤の場合は授業科目を担当する教員の岡山県立大学の部屋番号、非常勤の場合は( )内に非常勤と記入  
すぐ後ろには授業科目を担当する教員のメールアドレスも記入
- 対象学生  
講義の対象となる学生
- 概略  
講義内容や科目の説明
- 授業科目の到達目標  
単位を取得する際、理解しているのが望ましいとされる部分
- 履修上の注意  
履修する際に習得しておくべき要件やその他講義の形式等
- 授業内容とスケジュール  
各回講義内容の要点、概要
- 単位数  
授業科目を履修した場合に生徒が取得する単位の数
- 成績評価  
評価方法、及び評価配分
- 教材
  - － 教科書  
講義内で使用する冊子
  - － 参考書  
講義内容を理解する為に推奨する冊子
- 自主学習ガイド  
その講義を受講する際に必要とされる自主的な学習内容
- 備考  
その他必要、特記事項

## 4 システムの概要

本システムの目的はシラバスの効率的な作成である。

本システムの管理者は、稼働前に対象となるユーザへログイン名とログインパスワードの配布を行う。

教務委員のユーザには同時に管理者パスワードの配布を行う。

システム稼働期間中はユーザは配布されたログイン名とパスワードを用いシステムにログインし、シラバスの入力を行う。

ログインすると、科目一覧、科目の新規登録、パスワード変更、ログアウトが表示される。

- 科目一覧

- － 編集

- 作成中（登録済み）の科目の内容を編集

- ここで各記入内容を入力する（記入内容は項3を参照）

- － 科目名

- 編集した科目の仕上がりを見る

- － 削除

- 編集した科目を削除

- 科目の新規登録

- 科目名を入力し、登録をクリックすると新規に科目が登録される。

- （登録した科目名がそのままシラバスの科目名になる、科目一覧の編集で変更可能）

- パスワード変更

- 新規パスワードを入力し、変更をクリックするとパスワードが変更できる。

- ログアウト

- ログアウトしてトップ画面に移る

- 編集を行うにはログインし直す必要がある。

## 5 対象となるユーザ

- 教員  
岡山県立大学の教員。  
非常勤講師が担当する科目は担当の教務委員が入力を行う。
- 動作保証 OS
  - Windows XP
  - Windows Vista
  - Linux 系 OS
- 動作保証ブラウザ
  - InternetExplorer 6
  - InternetExplorer 7
  - Firefoxe 3

## 6 システム構成

### 6.1 ハードウェア構成

#### 6.1.1 サーバ

横田研 alpha サーバ

- IP アドレス 163.225.223.3
- スペック  
CPU0: Intel Pentium III (Coppermine) stepping 0a  
Memory: 1048320k

#### 6.1.2 ソフトウェア構成

- OS  
VineLinux4.2
- PHP  
Version 5.2.6
- Apache  
Version 2.2.9
- ptetex  
Version 3.0

## 7 開発体制

- M1

小宮山、結城、有安

- B4

結城、有安、松村、濱野

- B3

上田、岡崎、岡本、金子、近藤、松吉

## 8 開発スケジュール

2008 年度 12 月 ~ 2009 年度 3 月

## 9 開発環境

### 9.1 開発言語

- PHP PHP 5.2.6 を利用。
- CSS
- XML

### 9.2 依存関係

- php.xml PHP において XML 文章をパースする為のライブラリ。
- php.apache2 Web サーバが適切に PHP を解釈するための設定ファイルなど。
- Adobe Reader 作成した PDF ファイルの閲覧。